

第 11 回医学図書館研究会・継続教育コース開催のお知らせ

第 1 報 研究会演題募集

(第2 報詳細は9 月予定)

テーマ	変革の中の医歯薬学系図書館 - 2 0 0 4 -
期 日	平成 16 年 11 月 17 日 (水) ~ 19 日 (金)
会 場	川崎医科大学 現代医学教育博物館 (岡山県倉敷市)
主 催	特定非営利活動法人日本医学図書館協会, 日本薬学図書館協議会共催
参加資格	特に問いません

この集会は、研究会と継続教育コースの二つを同時期に開催します。研究会は、日ごろの調査研究の成果の発表とディスカッション、継続教育コースは、専門職として必要な知識や技術の習得を目的としています。

1. 研究会演題の募集

テーマ「変革の中の医歯薬学系図書館 - 2004 -」のもとに調査、研究成果、事例報告等を広く募集いたします。

* 発表内容は 15 分、質疑応答は 5 分を予定しています。

* 発表日は、11 月 17 日(水)と 18 日(木)午前を予定しています。

テーマについて

昨今、図書館をめぐる状況が大きく変化を遂げつつあります。電子ジャーナルに対する利用者からの要望は、日増しに強くなっています。利用者は来館するまでもなく文献をタイムリーに入手することのできる環境を求めています。

患者図書室の設置の動きも急速に広がっています。患者図書室は、新たな図書館サービスとして社会的にも注目を浴びています。すでにその一翼を担って活動している図書館があることは周知のとおりです。

また、国立大学が法人化されるなど外的要因が図書館に変革を迫る状況も起きています。これは大学、病院など組織のいかに問わず変革を迫られるので、上部組織改革の中での変革ととらえることもできます。

こうしたさまざまな要因は、従来の枠の中で逡巡し模索してきた図書館にとって発展の絶好のチャンス到来とみることも可能かと思われます。

例えば、運営資金確保の方策として経営戦略を明確にすることも必要でしょう。利用者の満足度を高めるための積極的なサービス計画を立てることも必要となるでしょう。

日本医学図書館協会が特定非営利活動法人(NPO)として発足したこと、そして「ヘルスサイエンス情報専

「門員」制度がスタートしたことは、こうした図書館を取り巻く状況の変化と無関係ではないと思われます。そうした意味で、2004年は図書館の変革に向けた大切な年と位置付けることができます。

医歯薬学系図書館の現状を的確に分析し、今後の図書館活動を新たな視点で見つめ直す契機になればと考え、今回の研究会のテーマとしました。積極的な発表をお待ちしています。

1-1. 申込方法

A4 用紙に、演題、研究者の氏名(共同研究の場合は発表者を筆頭に全員の氏名)、所属、住所、電話番号、メールアドレス、200 字程度の抄録を記入し、実行委員会事務局まで郵便、FAXまたは電子メールでお送りください。抄録をもとに実行委員会で検討しプログラムを作成いたします。

1-2. 申込期限 平成 16 年 6 月末日

1-3. 予稿集抄録の提出

9 月 21 日(火)迄に A4 縦 1 ページ(40 字×40 字程度)の予稿集用抄録を提出していただきます。形式など詳細は後日、ご連絡いたします。

1-4. 申込先・問合先 実行委員会事務局(下記)

2. 継続教育コース(企画中)

内容についてはただいま検討中です。決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

* 11 月 18 日(木)午後及び 19 日(金)午前の半日ずつ、正味 1 日を予定しています。

実行委員会事務局

701-0192 岡山県倉敷市松島 577 TEL.086-464-1158 FAX.086-463-6578

川崎医科大学附属図書館

担当:岸友子、黒木和子 medtosho@med.kawasaki-m.ac.jp

第 11 回実行委員会メンバー

日本医学図書館協会

大川陽子 高知大学
大瀧博久 島根大学
土佐智義 広島大学
吉見年紀 香川大学
岸 友子 川崎医科大学 (事務局)
黒木和子 " (")

日本薬学図書館協議会

明石麻由子 福山大学
岸村美和 味の素(株)

研究会、継続教育コースの参加申し込み、プログラムの詳細は、9 月の「お知らせ(第 2 報)」をお待ち下さい。